



過半数が坑口統合に反対

新労組員へのアンケート

九割が共闘したい

新労幹部への信頼は一割

川鉱

三池労組三川指導部はこのほど第四次合理化反対闘争をあげて三川鉱の新労組員へのアンケート用紙を手渡したもので、その範囲は、新労組の中央委員から組合員、坑外から坑内にまでわたり手渡したアンケート(三百通)のうち半数が記入され回収されたものである。

新労組の中央委員決定

とは正反対

まず、アンケートは「今次合理化提案にあたってみなさんの率直な意見を聞かせていただきたいと思ひますのでご協力下さい」という書きだしで各項目があなべてあるが、項目ごとの集約はつき通りである。

一、入坑経路の変更について

考えていませんか。

○反対すべきである

五五・三%

○新労組の要求書でよいと思う

一四・九%

○わからない

二五・八%

新労組の中央委員会では富浦支

部をのぞいて坑口統合には賛成だ

た者の中でも「形だけ」と書きそ

こ

り

る。

○民主的だと思

二八・四%

○民主的でないと思う

七一・六%

回答の中で「民主的だ」と答えた

司ちゃん(五才)と実母の井上久代さん(六十二才)の三人で社宅

に住んでいた。

明日が一周年目といふ日

稻垣さんが結婚したのは一年前

の十一月十日で昭和三十八年十月

三十一日長男の洋司くんが誕生

した。

利恵さんが入院中の天領病院に

とを知らせてくれたときは、もう

生きるのをどうしようもなかつた。

なつくると「生きるだけ生きて

生きて供養を

供養でもしてやろう」という気が

いつ主人の遺体が帰ってくるかも

自己で死んだので

はない

けれども

利恵さんは

しつれど無理に退院し帰る中途

がわかつてきただ。

利恵さんは

しなど無理に退院し帰る中途

がわかつてきただ。